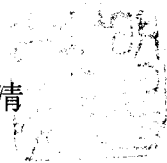


明 地 第1435号
平成20年10月22日

国土交通省道路局長 殿

明日香村長 関 義清



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあった件については、別紙により回答します。

- ・ 明日香村においては、生活道路と観光道路が重複しており、観光シーズン等の交通渋滞の慢性化や歩行者の危険性の解消を図るため、主要な国道 169 号線の歩道整備や、県道桜井・明日香・吉野線、県道多武峰・見瀬線の早期の改良工事が必要である。
- ・ 補助採択用件である道路幅員等に関わらず、明日香村の特色のある道づくりについては補助採択されるような、きめ細やかな配慮を要望する。
- ・ 明日香村の歴史的風土の保全に考慮した、道路維持事業に対して、国庫補助対象となるような措置を要望する。
- ・ 昭和 50 年に国 100%補助で閣議決定された周遊歩道も 30 年が経過しており、新たに設置される国営公園（キトラ古墳周辺整備）や観光ポイントとのネットワーク化が必要となっている。また、バリアフリーや徒歩・自転車等が安全に周遊できる再整備が求められており、周遊歩道の再整備を国において実施されるよう要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

②－1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

奈良県明日香村

○現状

・住民生活の利便性と歴史的風土に調和した道路デザインとの共生という視点から、道路の機能に応じて整備パターンをきめ細かく使い分けなければならない。

○課題

・主要生活道路については、直線で見通しが良いことが運転しやすく安全性が高いが、明日香村においては、歴史的風土を保全しなければならないため、地形に沿った曲線的な整備が求められる。

・地域住民と観光客があるいは、自動車と歩行者・自転車が混在することにより、村内に於いて観光シーズンには混雑や生活環境の阻害など様々な問題が生じている。村民の生活環境を守るとともに、来訪者にもわかりやすい道路整備を進めていかなければならない。快適な交通・通行だけでなく、憩いやふれあいの場としての役割を果たせるよう、「道」としてのデザインに配慮しながら、体系的に整備していく必要がある。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

奈良県明日香村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 良好な景観の形成	・道路改良事業における歩道整備	・村内の道路は歴史的風土保全上、直線ではなく地形に即した曲線的な整備が求められるが、この路線においての歩道も例外ではなく、直線的な歩道の緩和のため、舗装ではなく石畳を施工し、古道の風情を醸し出す工夫をし、歩行者にはゆっくりと安全に来訪し、明日香の風情を満喫できる道づくりを施工した。	